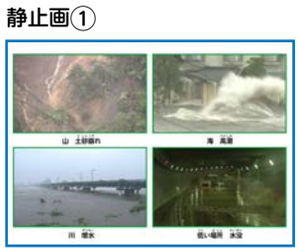
コンテンツ❸　台 風　～台風の進路を予測して台風に備える～

ねらい

台風がもたらす被害や、進路の読み方を知り、台風が来る際、事前にどのように備えたらよいかを考えさせます。

指導マニュアル

	学習活動（◆学習内容／発問／★指導者による支援）	提示資料など
導入	**1 学習の動機づけをする** 発問 毎年のように日本をおそう台風は、どのような被害をもたらしますか。 ◆ イラスト①を見せて、クイズを出す。 発問 台風で、カサが折れて飛んでいってしまうのは、風速何メートルぐらいだと思いますか？ ◆ 答えの前に、映像を見てみましょう。	イラスト①
展開	**2 台風の風と被害** 映像　『台風の風を知ろう』（2分23秒）を視聴する ◆ 台風がもたらす強風について、おさらいする。 ・実験では、大人の人が持っているカサが、風速 17 メートルで飛んでしまった。 ・台風では、風速 50 メートルを超えることも珍しくない。 風速 50 メートルでは、飛んだカサがガラスを突き破ってしまうほど危険である。	
	3 強い風以外の台風による被害 発問 台風は強い風以外に、何が原因で大きな被害をもたらすのか考えてみよう。 ◆ 広い範囲で、大雨が降る。 ◆ 風や雨が強くなる前に、台風に備えるために、どんなことを知っておいたらよいのか、もうひとつ映像を見てみましょう。 映像　『進路を予想し台風に備えるには』（3分30秒）を視聴する ◆ 台風にはどんな危険があるか、静止画①を見せて振り返る。 ・強風で木が倒れる。 ・海岸で高波が打ち寄せる。 ・大雨で川の水があふれて洪水が起こる（氾濫する）。 ・土砂崩れが起きる。 ◆ 台風の進路を予測する「予報円」を天気予報の静止画②でおさらいする。	静止画①  静止画②

	学習活動（学習内容／発問／指導者による支援）	提示資料など
展開	**4 台風に備えて、どんな物を準備しておいたらいいか考えよう** いろいろな災害を想定し、グループに分かれて意見を出し合おう。 ・電気・ガスが使えないときに備えるためには ラジオ、懐中電灯、電池、カセットコンロ、ライター、マッチ、毛布、食料など。 ・水が出ないときに備えるためには ミネラルウォーター、紙皿、ラップ、簡易トイレなど。 ・緊急のときに必要となるものは 雨具、ヘルメット、救急用品、軍手、リュック、常備薬など。	
まとめ	**5 まとめ** 台風は、他の災害と違い、気象情報によって予測できるので、時間をかけて備えることができる。 台風が来たら、危険なものが飛んでくることがあるので、できるだけ外出をさける。 必要な場合には早めに避難をする。	